

移住定住・関係人口創出の取り組みについて
～ 栃木県足利市 ～

足利市 総合政策部 企画政策課
企画政策・シティプロモーション担当
主査 柏瀬 誠

1. 足利市について

本市は、栃木県の南西部に位置し、東京から北へ約80kmの位置にあります。

本市の人口は平成2(1990)年に約16万8千人のピーク、それ以降年々減少し、令和元年6月には約14万5千人を切りました。

生活圏は栃木県佐野市、群馬県桐生市、太田市、館林市などに隣接しており両毛地域全体では人口60万人超のエリアです。

東京へは東武伊勢崎線で70分(北千住-足利市)のほか、群馬県高崎市と栃木県小山市を東西に結ぶ、JR両毛線の中心に位置しています。

北関東自動車道の開通により、都心まで約1時間でアクセスできるようになりました。



東武伊勢崎線 特急りょうもう号

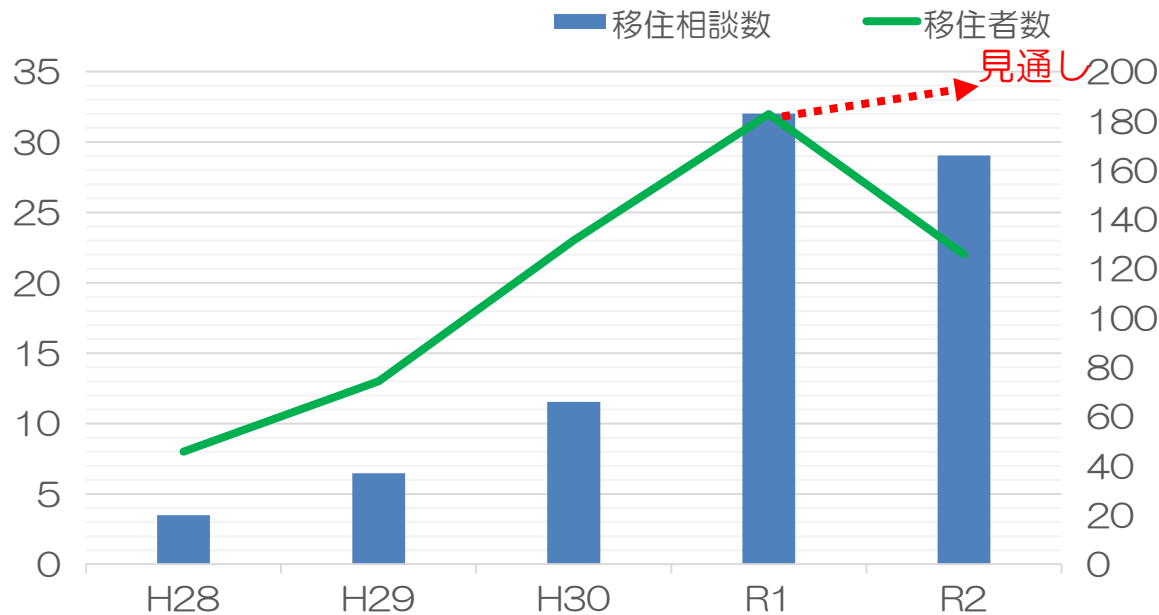
2. 足利市の移住・定住の取り組みについて

現在、多くの地方自治体では、都市部への人口流出に歯止めがかからず、本市においても例外ではありません。

本市ではこれまで首都圏に暮らす本市ゆかりの方との対話型交流会「足カフェ」、足利での働く場を見学する「移住ツアー」を半年に一度開催し、移住希望者や移住者とのネットワークを構築し、そこから様々な移住相談にひとつずつ丁寧に対応することで移住者受け入れを行ってきました。

平成31年4月JR足利駅構内の旧びゅうプラザを借用し、移住定住相談センターを開設、自らが移住者である地域おこし協力隊が中心となり相談に応じています。

移住相談者数と移住者の推移



3. 具体的な移住相談の事例

しごとの相談

- これまでのスキルを活かした仕事がしたい。
→飲食店、カフェ、デザイナー、農業など
自営、フリーランスは実現
→企業への転職は苦戦（テレワークへの対応）

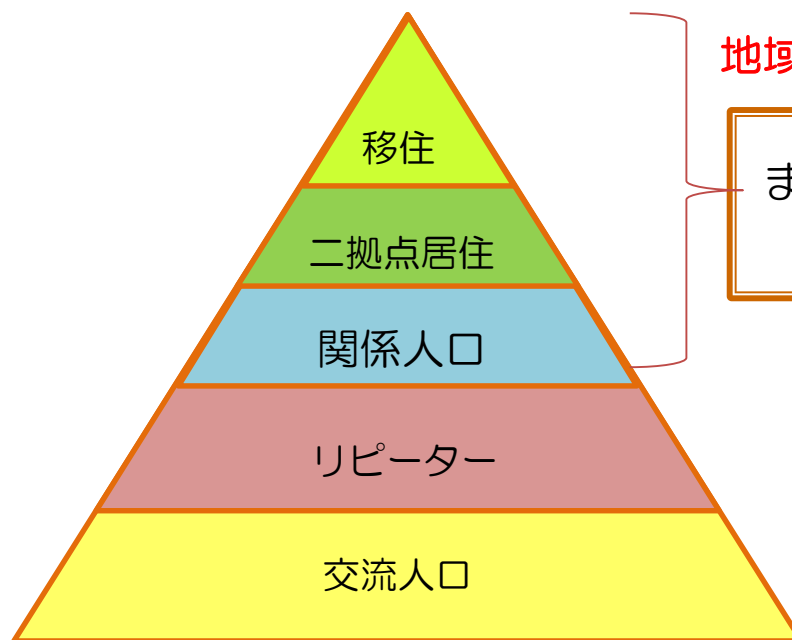
その他の相談

- 実家で暮らす親の介護、子育て環境を考えて
→まちのことなどを紹介

すまいの相談

- せっかくの田舎暮らし、
自分らしく暮らしたい
(店、ペット、自動車、田畑)
→一戸建てを希望
(空き家バンクなどを誘導)

本市が求めるターゲット



地域に関わりたい！

まちづくりの
活力

観光客

結婚を機に東京と足利 → 足利で野菜を生産 → **足利に関わりたい!**
の二拠点居住 【あしかが輝き大使】

南青山のレストランオーナーシェフのY氏。結婚を機に足利と東京の二拠点居住をスタート。

足利では実家の畑で野菜を生産するなど、足利産食材を都内のレストランで提供。都内でのシティプロモーションイベントや市内保育所での食育講座などへの参加協力などを経て、平成31年2月あしかが輝き大使を委嘱。

令和2年7月には、足利産等地元食材を活用し新メニューなどを展開するブランド「あしかがヌーボー」を立ち上げました。



東京と足利の二拠点居住 → 足利へ移住 → **足利に関わりたい!**
 【保管場所・作業場所】 【マルシェ主催者】

ヨーロッパでアンティーク家具などを買い付け、イベントやオンラインなどでの販売しているS氏。

商品の保管場所として、また修復などに音の出る作業があることから作業場所として地方拠点を探し、足利と東京の二拠点居住を経て、足利へ移住。

足利に関わりたいとのことから、日本遺産足利学校周辺でのマルシェを企画・開催



事例3：映像制作会社代表

親の介護 → 東京と足利の二拠点居住 → 足利へサテライトオフィス

東京



東武伊勢崎線

足利市駅



東京都渋谷区で映像制作会社を営む〇氏（本市出身、在住）が、親の介護を機に、平成28年に本市へUターン。本市と東京の二拠点居住をしていた。

本市の「映像のまち構想」に共感し、移住希望者などとの対話型交流会に参加する中で、地方における映像分野の可能性を感じ、自社の技術系部門（CG）の社員を移住させ、平成30年12月本市にサテライトオフィスを開設。

事例4：里山暮らし

東京との近隣市との二拠点居住 → 里山での土いじり → 東京と足利の二拠点居住



東京都で弁護士事務所を営みながら、近隣市との二拠点居住をしていたM氏。コロナ禍、家庭菜園のできる里山暮らしに憧れ、名草里山地区の一戸建てを借り、東京と足利の二拠点居住がスタートしました。

事例4：里山暮らし



事例5：アーティスト

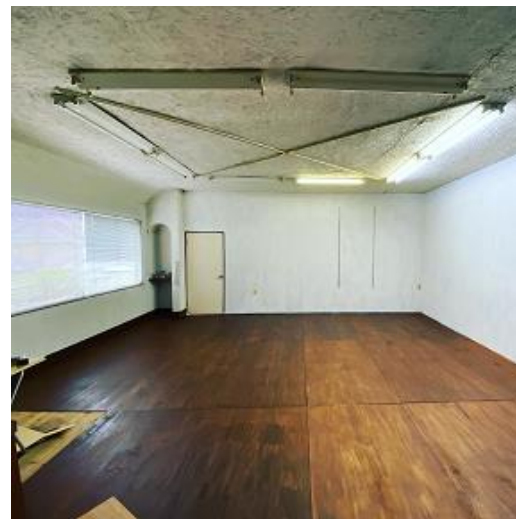
神奈川県在住 →
都内で制作活動

神奈川県と足利の二拠点居住【制作場所：足利】



本市出身のアーティストとのつながりもある
神奈川県在住の若手アーティスト。

展覧会に向けて都内で制作活動を探す中、賃料が安く、制作しやすい環境の空き物件を借り、
足利と神奈川の二拠点居住がスタートしました。



事例6：地域活動を求める大学生

都内などに在住 → 大学オンライン化 → 足利でフィールドワーク
大学生活



本市出身者に限らず、大学生などの地域体験の受入を積極的に行ってきました。

地域住民とともに地域活動を推進する地域おこし協力隊（まちなか、映像のまち、里山、アート等）がコーディネーターとして受け入れ。

コロナ禍、大学がオンラインとなる中、その需要は増えています。



事例7：飲食店などを創業



Kさん（30代ご夫婦）
足カフェを経てUターン。「お
でんとおばんさいの店もっく
もっく」をH29.9OPEN。奥様
は地域おこし協力隊



Fさん（30代女性）
都内等でのアパレル関係の会社
勤め、パン屋勤務などの経験を
活かし、Uターンし、H30.1パ
ン屋「ふくや」をOPEN。



Yさん（30代ご夫婦）
足カフェを経て古民家でカフェ
イベントを経験しUターン。
H30.4八蔵（はちくら）を
OPEN



Hさん（30代女性）
北仲通りの飲食店での接客業を
経て足利へターン。H31.9ゲ
ストハウスわ家OPEN



Aさん（30代ご夫婦）
市内での飲食店経験を経て、独
立を決意。
H30.6「スパニッシュイタリ
アNTSUMIKI」をOPEN



Mさん（30代男性）
1日4人限定のプライベートサロンを
OPEN
「KITANAKA100%」の発刊にも
関わる。H30.7OPEN



Iさん（40代男性）
酒蔵→酒屋→ワイナリオップの二代目とし
て継承。試飲会やイベントなどを近
隣店と連携し開催している。



Mさん（30代女性）
居酒屋柘榴の二代目としてUター
ン。
パン屋開店を目指し修行中



Tさん（30代男性）
焼き鳥美川の二代目
として継承
通常営業終了後、クラフトビール店
や蕎麦店などをイベントとして開催



Tさん（20代女性）
結婚を機に会社員を辞め、イベント
型の花屋を営んでいた。
あしかがアート収蔵などに関わる

事例7：飲食店などを創業

①情報誌「KITANAKA100%」の発刊



②連携イベント



③北仲通りの草刈り



④視察



⑤足利ミッドタウン商店会の結成



本市の支援事業①

関係人口創出パンフレット




スイッチを押して まち思いの明かりを灯していこう

わがまちスイッチとは、まちと関わる「きっかけ」のプログラムです。
自分に合ったスイッチを押してみてください。
今まで足利というまちを認識してこなかった人も
きっと「実は結構おもしろいまちだった」と感じられると思います。
今まで接点のなかった人との交流や、暮らしに触れ、地域の魅力を知ること
で気持ちがほっこり明るくなっていきます。
今まで暗く見えていたまちも、だんだん明るく見えることでしょう。
ぜひプログラムに参加して、まち思いの明かりを灯してみませんか？

足利にお住まいの方も・市外にお住まいの方も
例えばこんな人に利用してほしい！

- 足利での暮らしに興味がある方
- 足利から離れて暮らしているけど、足利に関わってみたい方
- もっと足利のことを知りたい方
- 足利で暮らす人とながりたい方



わたしたちにご相談ください！

わがまちスイッチの利用相談・総合案内窓口は「Aidacco」まで


人との交流から、空き家紹介まで
「わがまちスイッチ」のプログラムはたくさんあります。
このリーフレットを見て、気になるプログラムがありましたら
まずはお気軽にご相談ください！
わたしたち「わがまちスイッチアドバイザー」が
あなたに合ったスイッチをご提案いたします。
アドバイザーは皆「足利市移住・定住相談センターAidacco」にいます。

わたしたちにご相談ください！
このバッジがアドバイザーの目印！

わがまちスイッチアドバイザー

お気軽にAidaccoまでお問い合わせ・ご相談ください。

足利市移住・定住相談センター Aidacco (あいだっこ)
〒326-0054 栃木県足利市伊勢町 JR足利駅構内(北口)
TEL:0284-22-3434 Mail: karariko.ashikaga@gmail.com
営業時間：10:00～18:00 水曜定休



発行：足利市 企画政策課

足利とのかかわり方・サポートプログラム

わがまちスイッチ



● もっと足利のことを知りたい方

● 足利での暮らしに興味がある方

● もっと足利に関わってみたい方

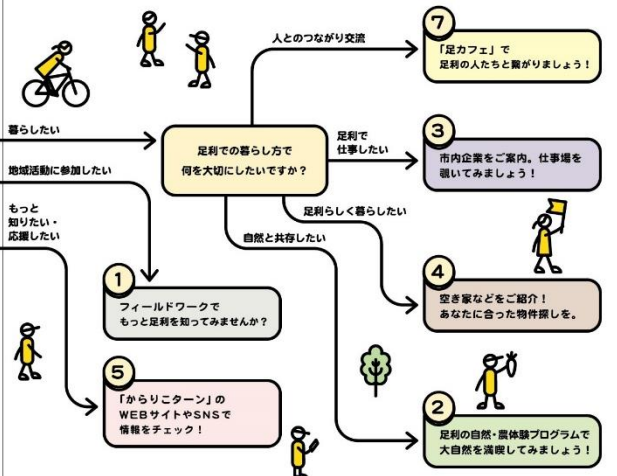
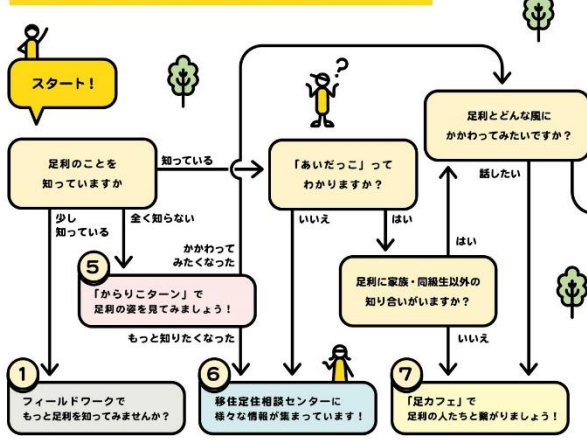
● 足利で暮らす人とながりたい方

栃木県足利市

本市の支援事業①

関係人口創出パンフレット

あなたにぴったり合ったプログラムは??



1 体験する 地域とかがわりたい!

各種フィールドワーク

地域おこし協力隊が地域住民と様々な活動をしています。1人でも気軽に地域活動に参加できるので、自分がやりたいことを見つけるため、地域活動へ参加してみませんか? (映像のまち、アート、まちなか暮らし等)



2 体験する 豊かな「自然」と向き合いたい!

足利の自然・農体験プログラム

せっかく足利で暮らすなら少し土いじりをしてみたい! 豊かな自然を活かして広く農業を始めたい! 農業体験やファームステイをしてみたい! あなたに合った自然との向き合い方をご案内します。



3 働く 企業のモノづくり力を知りたい!

市内企業をご案内

足利は中・小規模のモノづくり会社が多く、それぞれ高い技術力を有しています。そんな企業の取り組みをご紹介します。実際に企業へ訪問する機会もあるかも。まずはAidaccoへ。



4 暮らす 足利らしく暮らしたい!

空き家などをご紹介

足利には築100年の古民家も残っています。また駅から歩いて暮らせるエリアや、自然豊かな里山エリアにも空き物件はたくさんあり、そういった物件をリノベーションする人もいます。



5 「からりこターン」WEBサイト Instagram・facebook・Twitter

「からりこターン」は、織物のまち足利に響く織織りの音「からりこ」とん」と「移住(ターン)」から連想した言葉です。経糸(たていと)緯糸(よこいと)が交わるように、地域と人が交わることで新しい暮らしが生まれていきます。随時、足利のひと、しごと、ずまいをご紹介しますので、まずはご覧ください。知って、ずまいを意外に知らなかった「足利」のこと。きっと新たな発見があります。

「からりこターン」WEBサイト
 以下のURLか、QRコードからアクセスしてください。
<http://www.kararikoturn.com>

「からりこターン」SNS
 各SNSのアカウントからフォローしてください。
 Instagram ➡ 「karariko_ashikaga」
 facebook ➡ 「足カフェ からりこターン」
 Twitter ➡ 「@kararikoturn」

6 移住定住相談センター「Aidacco(あいだっこ)」

足利は都会と田舎の「あいだっこ」のようなとても住みやすいまちです。移住・定住相談センターは、相談者と地域の「あいだっこ」をつなぎます。足利の魅力を発信し、みんなが笑顔になれるような活動をします。足利で活動する人となりたい! そんな思いで平成31年4月JR足利駅内にオープンしました。移住者であり、地域で活動する地域おこし協力隊やサポートメンバーが相談に応じます。



7 交流する 足利で活動する人となりたい!

対話型交流会「足カフェ」

足利出身者や足利暮らしに興味のある人、足利とかがわりたいという人たちがゆるく集い、語り合える場が「足カフェ」です。足利で自分らしく暮らしていきたい! けど、ちょっと不安。みんなと同じような悩みを持っています。ちょっと先の自分の姿と重なるような地域で活動する人や、同じような気持ちを持つ同世代の人たちとつながる「足カフェ」は、このまちで暮らしていくために大切なコミュニティです。



サテライトオフィス 整備事業費補助金

足利市でサテライトオフィスを開設しませんか？

～足利市サテライトオフィス整備事業費補助金のご案内～

今般発生したコロナウイルス感染症は、企業活動に多大な影響を及ぼしています。しかし、そのような状況下において、感染症対策とICT等がもたらした「新たな働き方」に対する取組みは、国内外の企業で加速し、テレワーク等の導入がメディアに取り上げられることも多くなりました。そこで、足利市では、アフターコロナを見据え、有事における事業者の事業継続を支援し、新たな働き方を促進させるため、サテライトオフィスの開設に必要な改修費用の一部を支援させていただきます！

こんな方に活用いただける制度です！

市外企業の皆さま

- ・新たな働き方への対応が迫られている。
- ・業務継続のため事務機能の分散が必要
- ・従業員を守り、雇用を継続するために対策が必要



空き物件所有者の皆さま

- ・使い道のない不動産を持っている。
- ・誰かに貸したいが、借り手が見つからない。
- ・建物を改修したいがお金がかかる。



市内企業の取引先企業の皆さま

- ・良く足利に来るが事務スペースがない。
- ・他社に聞かれたくない話もある。
- ・簡単な会議室が欲しい。



補助対象経費の1/2
最大200万円

働き方促進支援
事業費補助金

企業や市民が取り組む働き方改革を応援します！

～足利市働き方改革促進支援事業費補助金のご案内～

今般発生した新型コロナウイルス感染症は、国内における働き方を大きく見直すきっかけにもなりました。この働き方の変化は、新型コロナウイルス感染症の終息後も続く想定され、様々な働き方を選択できることが、今後の企業活動や地域にとって必要な要素となり、雇用対策の一助になるとも想定しています。そこで、足利市では、**事務所等において様々な働き方に取り組んでいただけるよう、働き方改革に関する事務所等の整備及び事務スペース確保のためのオフィスの賃料等の一部を支援させていただきます！**

こんなお悩みを抱えていませんか？

市内企業の皆さま

- ・事務所のレイアウトを見直して新たな働き方を進めたい。
- ・テレワークを導入した際のWeb会議を実施するスペースが社内がない。



- ・新たなオフィススタイル導入に向け、新たなスペースが必要になった。
- ・テレワーク導入により、空きスペースができたため、有効利用したい。



市民の皆さま

- ・会社から在宅勤務を指示されたが、家では仕事に集中できない。
- ・個人向けのシェアオフィスを借りたいけど、余計な賃料が発生する…



シェアオフィス等運営者の皆さま

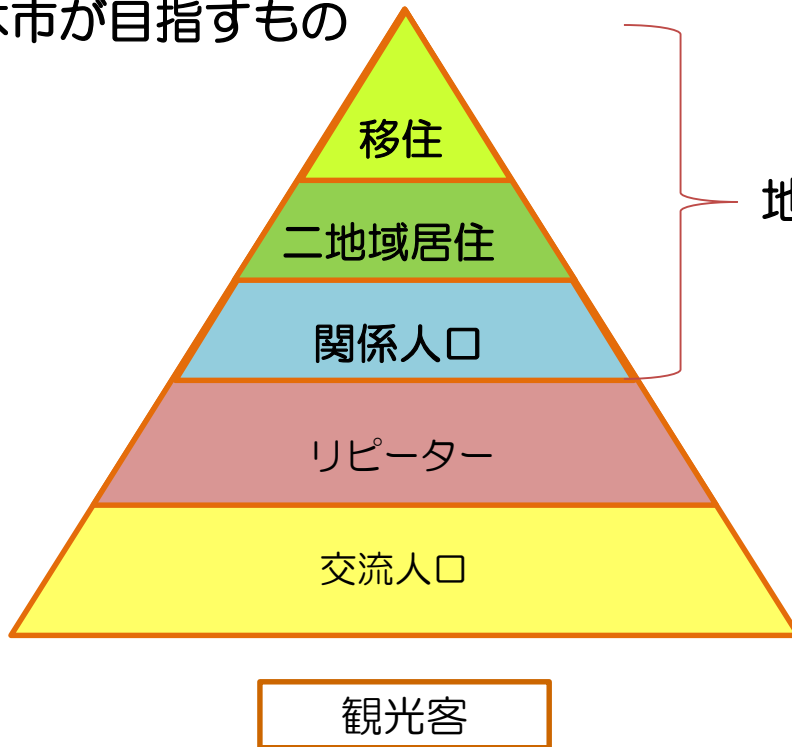
- ・すでに開設しているシェアオフィスの機能を拡充させたい。
- ・利用者のニーズに沿った場所に、受入環境を整えたい。



補助対象経費の1/2
最大100万円

本市の目指すものと課題

本市が目指すもの



【課題】

- 実際に二地域居住をしてみたが、移動は大変だった。
→交通費、生活費など実利的な部分
- やりたいことが、その地域で叶うのか？
→地域・人・場所などの情報やコミュニティの存在など
自分の欲求が満たせるような環境・魅力